

令和5年度 事業結果

令和5年度は、協会の目的達成のため、消防用設備等に関する講習会や研修会をはじめ様々な事業に取り組み、また、出火防止に向けた取り組みとして、消防用設備等の点検報告率の向上、住宅用火災警報器の普及促進を目指した啓発活動や避難困難者住宅に設置されている住宅用火災警報器の点検奉仕活動などの公共性の高い取組について、京都府及び府内各消防本部と連携して事業に積極的に取り組みました。

1 通常総会

令和5年6月13日(火) ホテルグランヴィア京都 出席者143名(委任状出席含む)

2 講習会・研修会等

(1) 消防設備士講習

第1回

京都市会場 令和5年9月20日～令和5年9月29日

福知山市会場 令和5年10月5日～令和5年10月6日

会場	消火設備	警報設備	避難設備・消火器	特殊消防	計
京都市会場	85(101)	261(284)	175(160)	19(17)	540(562)
福知山市会場	37(35)	69(52)			106(87)
計	122(136)	330(336)	175(160)	19(17)	646(649)

※(数字)は前年度実績

第2回

京都市会場 令和6年1月23日～令和6年1月26日

福知山市会場 令和6年2月8日～令和6年2月9日

会場	消火設備	警報設備	避難設備・消火器	計
京都市会場	108(110)	254(210)	151(153)	513(473)
福知山市会場	—	42(55)	42(58)	84(113)
計	108(110)	296(265)	193(211)	597(586)

※(数字)は前年度実績

第1.2回の受講者合計 1,243名(1,235名)

(2) 消防設備士受験対策講習

協会の独自事業として、消防設備士試験の受験者を対象に実施しました。

京都市会場 令和5年6月26日～30日

会 場	消火設備	警報設備	消火器	計
京都市会場	3 (5)	4 (2)	6 (10)	13 (17)

※(数字)は前年度実績 受講者合計 13 (17) 名

(3) 消防設備点検資格者講習及び再講習

(一財)日本消防設備安全センターから消防設備点検資格者講習及び再講習の事務委託を受けての講習を実施しました。

* 消防設備点検資格者講習

※(数字)は前年度実績

区 分	講習年月日	場 所	受講者数
第1種	令和5年5月24日～26日	ハートピア京都	78 (78)
第2種	令和5年5月31日～6月2日	ハートピア京都	76 (79)

受講者合計 154 (157) 名

* 消防設備点検資格者再講習

※(数字)は前年度実績

区 分	講習年月日	場 所	受講者数
第1種	令和5年6月21日	ラポール京都	101 (116)
第2種	令和5年6月22日	ラポール京都	95 (99)

受講者合計 196 (215) 名

(4) 消防用設備等技術研修会

協会の消防用設備等の新たな知識、技能の習得を目的に実施しました。

(京都市会場)

日 時	令和5年8月25日(金) 午後1時30分から午後4時40分まで
場 所	京都税理士会館3階 京税ホール
テーマ	<ul style="list-style-type: none">・最近の予防行政の動向について 講師 総務省消防庁予防課 総務事務官 金子 将大 氏・ガス系消火設備について 講師 株式会社コーアツ 技術グループ技術情報チーム 大橋 篤男 氏・避難の新しいカタチについて 講師 ナカ工業株式会社 西日本営業推進部 営業推進課 三好 奈月 氏
出席者数	84 名

(北部会場)

日 時	令和6年2月19日(月)午後2時から午後4時30分まで
場 所	宮津市みやづ歴史の館
テーマ	・避難の新しいカタチについて及び実機体験 講師 ナカ工業株式会社 西日本営業推進部 営業推進課 三好 奈月 氏
	・都道府県消防設備協会事務局長会議から 講師 (一社)京都消防設備協会 事務局長 那谷 章
出席者数	41名

3 消防用設備等点検済表示制度の推進

消防用設備等の維持管理の徹底、点検実施者の責任の明確化及び防火対象物の点検の確実な履行の促進を目的に実施しました。

(1) 消防用設備等点検済表示管理委員会

令和5年 9月 6日(水) 幹事会(書面会議)

令和5年12月 7日(木) 表示管理委員会 京都ホテルオークラ3階会議室

(2) 消防用設備等点検済表示登録会員数

令和6年3月31日現在 ※(数字)は前年度末会員数

消防用設備等点検済表示登録会員数	
北 部	20 (20)社
京都市内	97 (98)社
南 部	19 (19)社
他 府 県	2 (3)社
計	138 (140)社

(3) 京都府・消防用設備等セミナー(消防用設備等の適正点検に向けて)

あらゆる法令を遵守する意識の醸成と、表示登録会員等の業務資質の向上及び点検済表示制度に対する理解と認識を高めることを目的に実施しました。

日 時	令和5年12月1日(金)午後1時30分から午後4時30分まで
場 所	京都税理士会館3階 京税ホール
テーマ	・最近の消防法令等の改正及び消防用設備等の点検、点検報告時の留意事項 ・消防用設備等の奏功及び事故事例 講師 (一財)日本消防設備安全センター違反是正支援センター 次長 宇津澤 弥生 氏 ・ 調査役 黒田 哲司 氏
出席者数	73名

(4) 点検推進指導員による巡回訪問

点検済証の信頼回復を目的に点検推進指導員が府内の表示登録会員を訪問し、点検報告制度と表示登録制度について再確認を行うとともに、情報交換を行いました。(11会員)

(5) 点検済票（ラベル）の交付状況

令和6年3月31日現在

※(数字)は前年度実績

点検済票（ラベル）の交付状況		
消火器用	618,000枚	(629,300)枚
設備用（消火器以外）	165,300枚	(178,000)枚
計	783,300枚	(807,300)枚

4 公益事業関係

避難困難者住宅の火災警報器点検奉仕活動

京都市の公的給付事業により避難困難者宅に設置されている火災警報器の点検奉仕活動を実施しました。

令和5年9月15日（金）

京都市内6行政区 避難困難者住宅合計20カ所 正会員 6名参加

5 広報事業関係

(1) 会報「まもり」発行

会報「まもり」第89号を令和5年8月に発行、第90号を令和6年3月に発行しました。

(2) 協会ホームページの更新

協会ホームページの情報が新鮮なものとなるよう、令和5年7月と令和6年2月に更新しました。

6 文化厚生事業関係

研修及び会員相互の親睦を目的に、視察研修を実施予定しました。

令和5年11月7日（火） ナカ工業(株)滋賀工場 会員参加16名

7 その他事業

(1) 業務用図書等の斡旋、頒布

消防設備士受験対策講習会では、(一財)日本消防設備安全センター発行のテキストの注文取次、事務所における頒布の他、「建築消防 advice」等の参考図書を斡旋、頒布しました。

(2) 防火・防災基準点検済証（セイフティマーク）、防火・防災優良認定証の頒布

令和6年3月31日現在

※(数字)は前年度実績

防火優良認定証	3 (15)	防火基準点検済証	4 (8)
防災優良認定証	— (—)	防災基準点検済証	2 (2)
防火・防災優良認定証	3 (4)	防火・防災基準点検済証	2 (—)
		文字プレート	14 (13)

(3) 廃棄消火器の処分等

「古い消火器の廃棄処分」や「防火相談」「住宅防火対策」など府民の方々から多く寄せられるご相談について、協会ホームページに関連情報を提供するとともに、会員の皆様方のご協力を頂いております。

8 表彰関係

(1) 令和5年度京都消防設備協会表彰

優良会員表彰	オカモト防災株式会社	岡本 憲明
優良従業員表彰	北山防災株式会社	小釜 恒星
	奥滝電気株式会社	藤本 悟
	春日設備工業株式会社	山田 優
	有限会社宇治消火器店	中江 省一
	岡山電設株式会社	山内 弘志
優良事業所表彰	大春商事株式会社	

(2) 消防設備関係功労者等表彰

令和5年11月2日(木)東京都港区明治記念館で実施された令和5年度消防設備関係功労者等表彰式において、次の方々を受賞されました。

消防庁長官表彰

消防庁長官表彰	株式会社ヤマト商会	横川 幸生
---------	-----------	-------

一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰

消防設備保守関係者表彰	株式会社大興電気	木下 博之
消防用設備等点検済表示制度推進優良事業所表彰	能美防災株式会社	京都支社

9 会員数

令和6年3月31日現在

※(数字)は前年度末会員数

正会員	191 社 (193社)
賛助会員	26 社 (26社)